

【2026 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		0	40	30	0	30	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	15	15	0	0	30	
	思考・推論・創造する力	0	15	5	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	5	10	0	5	20	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
問題を発見・解決する力		0	5	0	0	5	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	執筆ルールに従ってレポートを作成できているか、適切な文章表現ができているか、テーマに沿った情報を収集できているか等を、ルーブリックを使用して評価する。(全体の 40%)				提出したレポートにコメントを付けて返却する。全体に対する指摘は、講義中の解説時間もしくは 9 回目以降にコメントする。	
	②	✓						
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①	✓	プレゼンテーションの構成、内容、表現技術、発表へのコメント、質疑応答等に対して、ルーブリックを使用して評価する。(全体の 30%)				発表準備段階で各グループの進捗状況確認、必要に応じフィードバックを行う。発表終了後評価結果の発表とともにフィードバックを行う。	
	②							
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	演習への取り組み(練習や質疑応答)、課題の提出状況、提出された課題を総合的に判断する。「達成度評価レポート」から、意欲や成長を評価する。(全体の 30%)				提出物に対しては必要に応じてコメントを付けて返却する。全体に対する指摘は、講義中の解説時間、もしくは 15 回目にコメントする。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	三科 貴博、小川 麻里子、渡辺 俊太郎、桑原 修、小石川 正文							
実践的授業の内容	プレゼンテーションの準備、実践など、グループワークを中心としたアクティブラーニングを行う。							
そ の 他	<p>大学での「学び」は、非常に多くの特別な能力(スキル)が必要とされる。健康科学大学では、「基礎演習 I・II (健康科学部)」、「スタートアッププログラム I・II (看護学部)」という大学初年次の演習系授業を中心として、これらのスキルの習得を目指している。本講義で習得を目指すスキルは、以下の 3 つである。</p> <p>(1) スチューデント・スキルズ (Student Skills) : 大学での生活の仕方、図書館など施設の利用方法、メンタルヘルスの維持、グループワークでの基本、キャリアデザインなど →S1</p> <p>(2) スタディ・スキルズ (Study Skills) : 書籍や文献の読み方、ノートの取り方、文章の書き方、レポートの作成方法、口頭発表の基本、学習成果の評価など →S2</p> <p>(3) アカデミック・スキルズ (Academic Skills) : 問題の設定およびその解決に必要な情報の収集・分析方法、論理的かつ効果的な発表方法など →S3</p> <p>これらのスキルは重なり合う部分もあり、他の講義でも部分的にその習得を目指すことがある。本学の学生にはこれらのスキルをいち早く習得し、自らの「学び」を深めていくことを期待する。</p> <p>社会情勢などによりシラバスが変更される可能性がある。</p> <p>※必修の演習科目なので欠席や遅刻をしないように努めること。演習の欠席は3回までしか認められない。遅刻も1回で欠席0.5回の欠席扱いになるので注意すること。</p>							